

年末に向けた交通安全指導の更なる推進（依頼）

この度、愛知県警察本部交通部長に着任しました依田でございます。

平素は、交通安全啓発活動をはじめ、警察行政の各般にわたり御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当県における交通事故情勢につきましては、コロナ情勢が未だ不透明な中、人流、物流の回復等を背景に交通死亡事故が多発しており、その特徴として、横断歩道において歩行者を撥ねる事故、信号無視や速度超過に起因する事故が挙げられ、まさに危機的な状況にあります。

また、例年、この時期は日没時間が早まり、視認性が低下する夕暮れ時と学校や職場からの帰宅時間が重なることにより、歩行者や自転車との事故が増加する傾向にあります。

そこで、県警察では、年末にかけて「ラストスパート2022」と銘打ち、歩行者保護や速度抑制、夕暮れ時対策を強化するとともに、「夕方の5～7（ゴーナナ）は魔の時間」として注意喚起をお願いしているところであります。

このような中、先週末から、事業所の従業員による安全運転意識の欠如が原因と認められる重大事故が連続発生しております。

県警察としましても、各種対策を講じてまいりますが、貴台におかれましても、事業所における従業員に対する交通安全指導をより一層推進していただきますようお願い申し上げます。

結びに、貴台のますますの御発展と御健勝を心から祈念申し上げます。

令和4年11月9日

愛知県警察本部

交通部長 依田 龍次郎